□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	加什么	7. 海中夕沙华古塔車类	宝体针面电器 5.5 机电器		投事業	士巨ハ処	=女壮+い	经个等点	=# 1// +//		
<b>美</b> 名	例十分分	<b>还通安全対策支援事業</b>	実施計画事業or一般事業				該当なし		該当な		
. 基本[	情報		施策横断的な取組との関連性	SDGS	該ヨなし	コンハクトシティ	該当なし	スマートンティ	談ヨな		
· 2241	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し		
当組織	課	産業政策課	初午祭交通安全対策支援	予算	款		新規or継続	継続	事業		
	係	産業政策係	事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業		
	体系コード	121 名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業		
女策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	初午祭交通安全実行委員		開始年度	S51	実施方法		営		
2211171	政策 施策	2 地域資源を活かしたまちづくり 1 中心市街地及び地域市街地の活性化	会交付金交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業		
. <b>事業</b> ( (1) 事勢	<b>概要と目的及</b> 業概要	とび(基本計画期間内)目標値				/ mz		WE 100 455 444 4			
業概要	旧暦2月の初午に近い金・土・日曜日に開催される初午祭りを安全に行うため、田沼初午祭交通安全実行委員会(佐野市あそ商工会、一瓶塚稲荷神社、周  辺町会、商店街、佐野警察署などで構成)の活動を支援する。本実行委員会は、初午祭の開催について、広報活動や当日の交通整理等を行っている。										
(2) 目的	的		(3)目標値								
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的			初午祭来場者数	人	54,000	54,500	55,000	55,500	56,00		
(本事業に よって成し		※交通安全実行委員会に交付金を交付することで、初	会場内・付近での事故発生件数	件	0	0	0	0			
遂げたい	十祭の無事	国故の運営が図られる。									
状態)											
.前年周	度の実績(氵	舌動及び費用対効果)説明									
1)活動	動実績		(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	事業費の技	住移		İ			
			活動指標	単位	R3	R4	R5				
			交付金支出回数		1	1	1				
5動実績											
R5年度に		は、初午祭が5年ぶりに交通規制を伴って実施されたこ									
った主な活 動内容)	とから、300	)千円の交付金を支出した。	事業費計	千円	0	0	300				
EUR JET/			一般財源	千円	0	0	300				
				千円							
			(うち受益者負担)	千円							
(3)活動	動による効果		(4)事業効果を説明する数	値デー	タの推移			↓選択して	下さい		
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5のb		
加果説明			初午祭来場者数	人	0	0	66,310	値が大きいほど良い	効果が上が		
定量及び	The second secon	<b>動なく運営できた。</b>	会場内・付近での事故発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わら		
定性)											
( - ) = ===											
		果(自動判定)	VA O TITIN L QUENTE HOMINI				жн				
費用(R5	5とR4の一般	財源増減) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断			効果がトがった	効果 効果は変わらない	効果が下がった			
費用(R5 効果	SとR4の一般 効果が上が 効果は変わ	財源増減) 費用が増加した うた指標数 1指標 らない指標数 1指標	※10万円以上の増減により判断	費	費用は下がった	効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった			
開(R5 効果 R5とR4の	5とR4の一般  効果が上か	財源増減) 費用が増加した うた指標数 1指標 らない指標数 1指標	※10万円以上の増減により判断	費用	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	効果が上がった		効果が下がった			
費用(R5 効果 (R5とR4の は標値増減) ・. 次年ほ (1) 令和	5とR4の一般   効果が上か   効果は変わ   効果が下か     <b>変に向けたを</b> 和 5 年度の	財源増減) 費用が増加した うた指標数 1指標 らない指標数 1指標 うた指標数 0指標 方た指標数 0指標 指標全体 効果が上がった	見等を踏まえた検討課題、費用な	用	費用の増減無し費用が増加した	0		効果が下がった			
費用(R5 効果 (R5とR4の は標値増減) ・ 次年原 (1) 令和	をR4の一般 効果が上が 効果は変わ 効果が下が 変に向けた移 和 5 年度の 通安全実行	財源増減) 費用が増加した らた指標数 1指標 らない指標数 1指標 らた指標数 0指標	見等を踏まえた検討課題、費用が する。	用	費用の増減無し費用が増加した	0		効果が下がった			
費用(R5 効果 (R5とR4の は標値増減) ・ 次年原 (1) 令和 (2) 上記	をR4の一般 効果が上が 効果が変わ 効果が下が 変に向けた移 和 5 年度の 通安全実行会 記反省点及で	財源増減) 費用が増加した 「うた指標数 1指標 らない指標数 1指標 「うた指標数 0指標 「うた指標数 0指標 「お標準を体 効果が上がった 「意材 の実力を表現している。「対象をである。「対象をである。「対象をである。」「対象をである。「対象をである。」「対象をである。「対象をである。」「対象をである。「対象をである。」「対象をである。「対象をである。」「対象をである。「対象をできない。」 「おいるでは、できない。」 「おいるできない。」 「おいるでは、「対象をできない。」 「おいるでは、「対象をできない。」 「おいるでは、「対象をできない。」 「おいるできない。」 「おいるできないるできない。」 「おいるできない。」 「おいるできないるできない。」 「おいるできない。」 「おいるできないるできないるできないるできないるできないる。 「おいるできないるできないるできないるできないるできないるできないるできないるできな	見等を踏まえた検討課題、費用が 「る。	用	費用の増減無し費用が増加した	0		効果が下がった			

作成·更新日 令和6年8月5日

事業名 壱番館公衆トイレ維持管理事業			実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	一般事業		該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本作	1. 基本情報								
	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	産業政策課	<b>→</b> 五	予算	款	7	新規or継続	継続	事業

担当組織		部	産業文化スポーツ部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	産業政策課		─ 売番館公衆トイレ維持管理事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	産業政策係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	平成14年度	実施方法	直営
	IXXX PT/IX	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
		施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化				<u> </u>		

## 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

## (1) 事業概要

(1) 尹未伽3

- ・中心市街地の活性化の拠点施設として設置された葛の里壱番館の公衆トイレ (葛の里壱番館東側)の維持管理を行う事業である。
- ・維持管理は、まちづくり葛生㈱に委託して維持管理を行う。
- ・トイレ周辺の立木の害虫駆除、剪定なども行う

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		地域市街地(葛生)における定住人口	人		1,963	1,951	1,940	1,928
(本事業に	/   トルバッキストラに維持管理を行う	施設維持管理上の来訪者からの苦情件数	件	0	0	0	0	0
よって成し 遂げたい								
状態)								
17.7017								

## 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

( 1 / / 11 =	55 J C 1 J C		///	于未只约	H 17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		トイレ清掃作業の延べ日数	П	365	365	365
<b>マミニ</b>	1. m.   1. a. T.)   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	周辺立木の害虫駆除等回数		1	1	1
活動実績 (R5年度に						
行った主な活 動内容)	・ポケットパーク南側の生垣の剪定を実施した。(7月)	事業費計	千円	0	1,014	1,116
≢//r 1 <del>/11</del> /		一般財源	千円		1,014	1,116
		特定財源(国·県·他)	千円		0	0
		(うち受益者負担)	千円		0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1	+L CC = ¥ 00		地域市街地(葛生)における定住人口	人	1,921	1,868	1,809	値が大きいほど良い	効果が下がった
	効果説明		施設維持管理上の来訪者からの苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
	(定量及び 定性)	週切に配付自注で110、本訓句に大週に加設で利用してもりんた。							
	ÆIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

	費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
	効果	効果が上がった指標数	0指標
	(R5とR4の	効果は変わらない指標数	1指標
		効果が下がった指標数	1指標
	指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			$\cap$

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

維持管理を委託しているまちづくり葛生(株)から当該施設へのいたずらによる破損の報告があったが、早急に修繕を行ったことで、施設維持管理上の苦情は発生しなかった。今 後も来訪者の方に快適に利用していただけるよう、適切に管理を行う。

(2)	上記反省占及び課題を踏まえた	△和6年度及バ仝和:	7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明	

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り	返りシ	ート(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	令和6	年8月5日		
事業名	葛生街路	3灯維持管		実施計画事業or一般事業	— <u>,</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
771	ام رحا علا رعا	47°3 (1443 °C)		施策横断的な取組との関連性				該当あり		該当なし		
1. 基本情	青報											
		産業文化スポ	ペーツ部	予算中事業名		会計		事業計画	単年度			
担当組織	DК	産業政策課		葛生街路灯維持管理事業	予算	款		新規or継続	継続			
		産業政策係	A Th		科目	項	1	市単独or国県補助	市単独			
	体系コード	121	タン・カース 主義 一年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	根拠法令、条例等	<del>= **</del>	目		義務or任意	任意的			
政策体系	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度			直			
	政策 施策		地域資源を活かしたまちづくり 中心市街地及び地域市街地の活性化		州川	終了年度	-	事業分類	他設維持	官理争耒		
2. 事業概	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要											
事業概要	市に納入す・街路灯の描	京人ロード街路灯(28基)の電気料金は、市70%、町会30%の負担割合で、町会の負担分は町会が年2回(上半期分と下半期分)に分けて に納入する。 街路灯の撤去は葛生町街路灯維持管理委員会が平成27年度と平成28年度の2カ年かけて行い、撤去費用の50%を市補助金として平成27年度と 成28年度に支出する(撤去費用の負担割合は市50%、葛生町街路灯維持管理委員会20%、町会30%)										
(2)目的	勺			(3)目標値								
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的 (本事業に	** # W. F. J	/±=== \±		施設維持管理上の苦情件数	件	0	0	0	0	0		
よって成し			切な維持管理を行い、市民・来訪者が安 動を行うことができる。									
遂げたい	土・沃地に	上心、尹未心	到で1〕ノことができる。									
状態)												
3. 前年度 (1)活動		<b>5動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	- タ及び 単位	ド事業費の打 R3	推移 R4	R5				
				人口	人	####	####	####				
活動実績	・原人ロード	待路灯(28基	ま)の電気料金及び一般街路灯(従来より	街路灯設置数	基	31	31	31				
(R5年度に	市の管理3基)の電気料金、街路灯31基の施設所有(管理)者								ı			
行った主な活動内容)		ミ険料を支出。 また実施した/		事業費計	千円	0	697	698				
<b>3</b> 31 3C)	・炽明の修	善を実施した(	ZH)	一般財源	千円		697	698				
				特定財源(国·県·他)	千円		0	0				
				(うち受益者負担)	千円		0	0				
	<del></del>											
(3) 活動	かによる効果 I			(4)事業効果を説明する数			D.4	DE	↓選択して	トさい R4とR5の比較		
				効果指標 施設維持管理上の苦情件数	単位件	R3	R4 0	R5	指標の性質 値が小さいほど良い	効果は変わらない		
効果説明	利用上の苦	情もなく、利用	用者の方に快適に使用してもらうことができ	心成作的日生工公口旧口效	- ''							
(定量及び 定性)	た。											
ÆIL)												
(5)費用	用対効果結果	艮(自動判定	2)	_								
	とR4の一般原		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果				
効果	効果が上が効果は変わら	った指標数			-111-	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
(R5とR4の	効果が下が	った指標数			費	費用の増減無し		0				
指標値増減)	_	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した						
(1) 令科 ・令和5年 ・旧葛生町 生町で電気	度に関しては において、平 に料の補助を	羅業実施におり 、施設維持管 成6年に老村 実施した。その	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 管理上の苦情はなかった。 5化した街路灯を全て設置し、その管理運営 0後、平成23年2月、補助金等交付検 で整理すべきである。」との提言を受けた。	営を行うため、平成7年2月に	葛生町	街路灯管理	委員会を記					
(2) =	コ <b>ニ</b> ル トワ・	作用 8岁子 0水十二	st A和(左座型がA和)を空へで作									
(2) 上記	は反省点及び	)課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明								

1 中心市街地及び地域市街地の活性化

事業名	╻ 地域市街地活性化推進事業		実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	3-①	総合戦略	該当なし	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	青報									
	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名	会計		一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	産業政策課		  地域市街地活性化推進事業	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
	係	まちなか活性化係		地域印度地位住他推進事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	中事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	R4	実施方法	一部	委託
以外件水	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度	_	事業分類	その他市民は	対する事業

### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

## (1)事業概要

施策

事業概要 地

地域市街地(田沼駅及び葛生駅周辺地区)の活性化策を講じるために必要な調査、研究及び資料を作成する。地域市街地活性化のにぎわいを創出するため、「まちなか 地域おこし協力隊員」を設置する。

(2)目的

### (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		地域市街地歩行者通行量(平日・2カ所)	人	750	800	850	900	950
(本事業に	  低未利用な空き物件や空き地を減らし、人流・店舗を増やす。	地域市街地空き店舗活用件数(累計)	件	2	4	6	8	10
よって成し 遂げたい	低木利用な空き物件い空き地を減りし、人流・店舗を増いり。   							
状態)								
,								_

## 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

#### (1)活動実績

### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/01	37/1 <del>2</del>		///	7于水头*70年17	<u> </u>	
	[三田本中作]	活動指標	単位	R3	R4	R5
	【調査実施】 歩行者通行量調査、空き店舗調査、宇都宮大学学生との現地	調査実施数	件	3	3	4
	聞き取り調査、協力隊員との現地聞き取り調査	地域おこし協力隊員の数	人	1	1	1
活動実績 (R5年度に	【地域おこし協力隊員の委嘱】 ・報償費や活動経費の支給	関係団体等との連携した取組数	件	0	2	2
・ 行った主な活 動内容)	*報賃員や治野程員の文社 ・活動の支援(イベント企画4回 他)	事業費計	千円	0	139	4,122
新いる)	【関係団体等との連携した取組み】	一般財源	千円	0	139	4,122
	・宇都宮大学「地域プロジェクト演習」による学生との協働 ・あそ商工会とのイベント連携や地域情報の共有	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

# (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+L CC = 4 0 C	各種調査や取組みを進める中で、直接かかわりを持った者や情報	地域市街地歩行者通行量(平日・2カ所)	人	708	890	1,067	値が大きいほど良い	効果が上がった
	発信を行った対象者などに対して、当該地域について考える機会を	地域市街地空き店舗活用件数(累計)	件	2	2	3	値が大きいほど良い	効果が上がった
•	提供することができた。							
~=:-/	TEMP SCC/I Care							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断
か田	効果が上がった指標数	2指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標	
指標值増減)	指標全体	効果が上がった	

				効果	
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
Γ	費	費用は下がった			
		費用の増減無し			
L	用	費用が増加した	0		

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

調査や直近での取組みに対する反響等を踏まえて、中長期的な効果を見据えて臨機応変に取組むことが必要である。また、宇都宮大学との連携については、田沼地域は令和6年度が 最終年度となるため、令和7年度以降も連続性を損なわないような取組みの検討が必要である。

現地域おこし協力隊員についても令和6年度が最終年度となるため、令和7年度以降の協力隊制度活用の検討が必要である。

(2)	上記反省点及び課題を踏まえた	、令和6年度及び令和7	′年度の取組
-----	----------------	-------------	--------

П	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
<b>V</b>	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
	特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

# 取組説明

民間主導で地域の活性化が推進されるよう、関係者を巻き込みながら必要とされる場づくりや仕組みづくり、地元高校や大学との連携についても検討する。地域おこし協力隊制度については、地域課題を明確にしたうえで、令和7年度の募集を検討する。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1工事	T  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・										
事業名	くずう原ノ	人まつり支持	<b>援事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業		該当なし			
4 <del>1</del> - 1 -	<b>+</b> ±0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	部	産業文化スプ	#	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	温り行!	
担当組織	課	産業政策課	バークログ		予算	款		尹未司 四 新規or継続	継続		
	係	産業政策係		くずう原人まつり支援事業		項	,	市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等	7111	目	-	義務or任意	任意的		
	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直		
政策体系	政策		地域資源を活かしたまちづくり	くずう原人まつり事業費補助	期間	終了年度		事業分類			
	施策		中心市街地及び地域市街地の活性化	金交付要領		#< 3 1/X		チベバス	2,1/2	3 714	
(1)事業	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値         (1)事業概要										
	して、8月第		:野市あそ商工会、市、各団体、市内事業 引催(令和4年度からは9月下旬に開催) どを実施。								
(2)目的	<b>5</b>			(3)目標値							
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				くずう原人まつり来場者数	人	0	10,000	15,500	16,000	16,500	
(本事業に よって成し			付して財政支援及び広報支援を行うこと								
遂げたい	で、まつり内	容の充実化と	:円滑運営、来場者数の増加が図られる。								
状態)											
3 前年度	きの宝績(答	壬動及が毒田	対効果)説明								
(1)活動		山却人U 吳川	(1/3//J/A/) BIG-73	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の持	<b>推移</b>				
(1) /113				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				広報さの記事掲載回数	回	0	1	1			
	令和5年度	は、9月23日	(土)・24日(日)に開催され、各種ス								
活動実績		験イベント等を									
(R5年度に 行った主な活	וויכה כופי		こ補助金2,500千円を支出。広報さの記	<del>=</del> ##=1		0	2 500	2 500			
動内容)	事掲載、広	報さの9月号	と同時にチラシの全戸配布、報道機関に	事業費計	千円	0	2,500	-			
	情報提供を	行った。		一般財源	千円	0	2,500	2,500			
				特定財源(国・県・他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
				(力)交無有兵担)	111						
(3)活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値デー	タの推移			↓選択して	下さい	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
効果説明				くずう原人まつり来場者数	人	0	13,000	16,000	値が大きいほど良い	効果が上がった	
	まつり来場を	<b>皆数は、増加</b> 値	傾向にある。								
定性)											
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	Ξ)	-							
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果			
効果	効果が上が	った指標数 らない指標数	1指標 0指標		-1111	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
(R5とR4の	効果が下が		0指標 0指標		費	費用の増減無し	0				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった	]	用	費用が増加した					
(1)令和		事業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 援を継続する。	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果[	句上のための	)課題				
(2) 上記	己反省点及び	/課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	<u>,                                      </u>	1						
		:		取組説明							
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)								
	事業効果を 事業費の見		事務改善の検討								

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事の振り返りシート(令相5年度美施分) 株式 東新日 令和6年7月31日											
事業名	たぬまふ	るさと祭り	支援事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
	***			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	— 65	事業計画	単年度	繰り返し,	
担当組織	課	産業政策課			予算	款				送続事業	
	係	産業政策係		たぬまふるさと祭り支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業	
政策体系	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	たぬまふるさと祭り支援事業費	事業	開始年度		実施方法	直		
	政策		地域資源を活かしたまちづくり	補助金交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業	
施策											
事業概要	を、平成26	・27年度は田	員会(佐野市あそ商工会が事務局)が3 3沼庁舎と市民病院の間の市道を歩行者えて10月下旬ごろ開催された。								
(2)目的	ሳ			(3)目標値							
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
(本事業に	ためまててき	・レ奴の宝仁禾	員会に対し財政支援や広報支援を行うこ	たぬまふるさと祭り来場者数	人	0	20,000	20,500	21,000	21,500	
、 よって成し			受 会に対し対政文法や仏教文法を1772 と円滑運営、来場者数の増加が図られる。								
遂げたい 状態)	C C ( 3( )										
DUBLY											
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	<b> 対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の打	推移				
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				広報さの記事掲載回数		0	1	1			
活動実績	令和5年度	は、10月15日	日(日)にクリケット国際大会と同時開催								
(R5年度に 行った主な活	されたが、実	ミ行委員会に	補助金1,700千円を支出し、広報さの10								
動内容)	月号と同時	にチラシの全声	□配布、報道機関に情報提供を行った。	事業費計	千円	0	1,220	1,700			
				一般財源	千円		1,220	1,700			
				特定財源(国·県·他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
(2) 汗毛	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	が言ニ	カの世段		I.		- <del></del>	
(3)/白里	別による効果			効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質		
				たぬまふるさと祭り来場者数	人	0		_		効果が下がった	
効果説明	多小の増殖	<b>はけねるものの</b>	、来場者はある程度一定している。				,	ŕ			
(定量及び 定性)	タタ の	かなのろ ひつつう	(不物目は例が住皮 足している。								
,											
		果(自動判定		1							
	とR4の一般  効果が上が		費用が増加した 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効用が下がった		
効果		らない指標数	0指標		費	費用は下がった	刈未が上がりに	刈未は変わらない	刈来が下がいた		
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	らた指標数 指標全体	<u>1指標</u> 効果が下がった		用	費用の増減無し					
		旧你工件	が未が「いかりに			資用が相加した					
(1) 令和	4. 次年度に向けた検討 (1)令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 たぬまふるさと祭りの周知・広報活動・財政支援の継続										
(2) Hi	(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組										
\-/ <u>_</u> _		, 10 kg chiqo/		取組説明							
	取組記明  事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討 事業費の見直し検討 業務時間効率化のための事務改善の検討										